

**(旧) 県民交流広場 全県オフィシャルホームページ 掲載記事**

**掲載コンテンツ**：リレーコラム

**掲載時期** 平成 24 年 7 月

**テーマ** 県民交流広場事業で地域の絆深まる

**寄稿者** 神戸市須磨区神の谷ふれあいのまちづくり協議会 委員長 中村 五郎

**◎地域の概要**

須磨は、六甲連山の西端、畿内の隅に位置し、古くは源氏物語や源平合戦などの歴史文化を今に伝える名勝史跡も多く、白砂青松の須磨海浜とともに気候温暖、風光明媚な住みよい土地柄です。

神の谷地区は、須磨区の北西部、福田川上流の丘陵地で、「山、海へ行く」と言われたポートアイランド、六甲アイランドなどの埋立用土を運び出した跡地に計画的に造成整備されたニュータウンの快適な環境の中にあり、地下鉄山手線で都心部と結ばれていますが、街開き 30 年を経て高齢化が進んでいます。

神の谷小学校区（2, 500 戸、人口 6, 800 人）では、小学校、児童館に隣接して地域福祉センターが平成 2 年に開設され、老人会・婦人会・民児協・自治会・管理組合等の代表者で構成する「神の谷ふれあいのまちづくり協議会」が管理運営を担当しています。

阪神淡路大震災では仮設住宅の被災者支援や交流活動も展開し、現在では、地域の憩いと活動の拠点として各種会合・高齢者食事・健康づくり体操・ふれあい喫茶・小学校、児童館との交流行事・各種サークル活動・ふれあいサロンなどで年間約 2 万人が利用する中、手狭まを託っていました。

**◎活動拠点の整備**

平成 19 年度に県民交流広場事業に採択され、私たちの活動拠点である神の谷地域福祉センター（RC 2 階建 249 平方メートル）は、敷地・資金の制約の中、非常階段を移設し 2 階部分の南東 2 面を各 1.5m 拡張増築、活動室・調理室を 35 平方メートル増床し、受電容量・ガス容量を増し、使い勝手も向上しました。助成金 1,200 万円に加え積立金 350 万円を増築費に充当したため、備品整備は後回しになりました。

**◎県民交流広場活動**

待望久しかったセンターの増床が成って、既存の諸活動も快適に活性化しており、利用者みなさんに喜んで貰っています。

新たな活動として、独居高齢者や外出不安高齢者を、当協議会の福祉部を担う民生委員 9

人にそれぞれ5人ずつのひまわりさん（スタッフ）が協力して訪問し、センターにご案内して集い、季節料理や簡単料理を学習し、一緒に調理して一緒に食べる「交流広場ひまわり」を毎月1回実施しています。

献立は、サンドウィッチ・ホットドッグ・餃子・お好み焼き・焼きそば・中華冷麺・夏野菜カレー・天ぷら・おはぎ・ちらし寿司・中華丼・シチューなど多彩で、一緒に調理し、食べておしゃべりした後、懐メロなどを合唱して、明るく楽しく元気よく、交流の絆を深めています。

24年度で活動費の助成が終了しますので、参加者や協力スタッフのご意見を聞き、継続する方途を探りたいと思っています。